

総合型選抜
説明

経済学部

Faculty of Economics

経済学部 of 総合型選抜入試は2つの「型」で実施します

	活動評価型 〈レポート方式〉	探究実践型 〈プレゼンテーション方式〉
評価方法	高校時代までの 活動内容をもとに評価	これまでに実践した探究活動 に関するプレゼンを評価
定員	30名	15名
選考方法	■ エントリーシート、調査書 ■ 課題（レポート） ■ 面接	■ エントリーシート、調査書 ■ 課題（レポート） ■ プレゼンテーション ■ 面接

経済学部 of 総合型選抜入試について

活動評価型 〈レポート方式〉

■ 出願資格・選考日程・選考方法

- 1 次選考のポイント
- 2 次選考のポイント

探究実践型 〈プレゼンテーション方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1 次選考のポイント
- 2 次選考のポイント

本学部のアドミッション・ポリシーを理解し、次のA、B、Cの
三つの条件を満たす者

| A. 一般的条件

| B. 基礎学力の条件

| C. 個人の活動条件

アドミッション・ポリシーはこちら



A. 一般的条件(下記のいずれかに該当する者)

活動評価型

出願資格

- ① 2027年3月高等学校・中等教育学校を卒業見込みの者、
または2027年3月高等専門学校第3学年次を修了見込み
の者
- ② 2026年3月高等学校・中等教育学校を卒業した者、
または2026年3月高等専門学校第3学年次を修了した者

簡単に言うと、「現役の高3生」と「1浪生(昨年度卒業)」が出願可能と
いうことです。

B. 基礎学力の条件

活動評価型

出願資格

全体の学習成績の状況(評定平均値)

3.0以上

かつ

国語・数学・英語それぞれの
学習成績の状況(評定平均値)

3.0以上の者

C. 個人の活動条件

活動評価型

出願資格

下記①②③のいずれかの継続的活動に基づいて、
将来の目標を見据えつつ自己推薦できる者

- ① 文化・芸術・スポーツ・芸能の分野での活動を通じて、一定の成果をあげた者
- ② 資格を取得している者
(例：商業経済／簿記／情報・パソコン／英語／数学／漢字等に関連する資格)
- ③ 上記以外に自己推薦ができる者
(例：生徒会活動／留学経験／ボランティア活動／部活動における部長経験等)

選考日程・方法

活動評価型

選考日程・方法

出願期間

9月1日(火)～9月10日(木)

1次選考

書類選考(来校の必要はありません)

2次選考

10月17日(土) @品川キャンパス
面接(15分程度)

※活動評価型と探究実践型(2次選考は10月18日)の両方に出願することも可能です。

経済学部 of 総合型選抜入試について

活動評価型 〈レポート方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- **1 次選考のポイント**
- 2 次選考のポイント

探究実践型 〈プレゼンテーション方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1 次選考のポイント
- 2 次選考のポイント

エントリーシート、調査書、課題（レポート）により選考します。

■ エントリーシート

「志望理由」「入学後に学びたいことや取り組みたいこと」
「将来の目標」について、**600**字以内で具体的に記述してください。

■ 課題（レポート）

出願資格「C.個人の活動条件」のうち、自身が該当する条件について、
具体的な自己推薦内容を**800**字以内で記述してください。

エントリーシート・課題(レポート)は、以下の点に留意して記入してください。

- 選考書類ということを意識し、**丁寧に取り組んで**ください。
- **制限字数の上限に近い字数(できれば最終行)**まで使用して表現してください。
- **原稿用紙の使い方**を守って記入してください。
- **論理的な文章構成**になるように心掛けてください。
- 誤字・脱字がないように、**十分に見直し**を行ってください。

課題(レポート)は、以下のような内容を組み入れてください。

- 継続的活動に関する**具体的な内容**。
- 目標を達成するために**どのように努力したのか**、また、その過程で**どのようなことを学んだのか**。
- 活動を通して得た経験を、入学後の学びや将来に**どのように生かしていきたいか**。
- グループで活動に取り組んだ場合は、グループの中で**自身がどのような役割を果たしたのか**。

経済学部 of 総合型選抜入試について

活動評価型 〈レポート方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1次選考のポイント
- **2次選考のポイント**

探究実践型 〈プレゼンテーション方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1次選考のポイント
- 2次選考のポイント

面接（全体で15分程度）

課題（レポート）の記入内容をもとに**3分程度**で自己推薦を述べてもらい、その後、質疑応答を行います。

評価のポイント【面接】

活動評価型

2次選考

自己推薦内容のスピーチ(3分程度)

スピーチ後の「**質疑応答**」が重要になりますので、スピーチは**必ず3分程度**でおさめてください。

質疑応答(12分程度)

面接官は、自己推薦の内容を掘り下げながら「**それはなぜ？**」
という形で**質問**を行います。

それに対する応答から、「**論理的思考力**」や「**表現力**」を評価します。

具体的には・・・

- 面接官の質問に対して的確な受け答えができているか。
- 自分の考えを整理し、筋道を立てて説明できているか。
- 理由や根拠を添えて、説得力のある説明ができているか。
- 適切な語彙や表現を用いて、わかりやすく説明できているか。

経済学部 of 総合型選抜入試について

活動評価型 〈レポート方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1次選考のポイント
- 2次選考のポイント

探究実践型 〈プレゼンテーション方式〉

- **出願資格・選考日程・選考方法**
- 1次選考のポイント
- 2次選考のポイント

本学部のアドミッション・ポリシーを理解し、
次のA、B、Cの三つの条件を満たす者

- Ⅰ A. 一般的条件
- Ⅰ B. 基礎学力の条件
- Ⅰ C. 個人の活動条件

A、Bの条件の内容は「活動評価型〈レポート方式〉」と同一です。
詳細は本資料のP.5～P.6をご確認ください。

C. 個人の活動条件

探究実践型

出願資格

下記①②のいずれかに関する、自身が経験した探究活動についてプレゼンテーションを行い、かつ適切に質疑応答ができる者
(グループで実施した活動については、**自身の担当部分や学んだこと等を明確**にすること)

- ① 高等学校等の教育課程において学習した内容について探究活動に取り組み、その成果を授業内や学内外の発表会等で発表した経験のある者
- ② 教育課程外で探究活動に取り組み、その成果を学内外の発表会等で発表した経験のある者。ただし、部活動、生徒会活動、課外活動、自主的な活動等、活動の形式は問わない

学内外の発表会やコンテストでの発表経験だけでなく、「総合的な探究の時間」などの**通常の授業内での発表経験**でも出願可能です。

選考日程・方法

探究実践型

選考方法・日程

出願期間

9月1日(火)～9月10日(木)

1次選考

書類選考(来校の必要はありません)

2次選考

10月18日(日) @品川キャンパス

- ① プレゼンテーション(10分)
- ② 面接(15分程度)

※探究実践型と活動評価型(2次選考は10月17日)の両方に出願することも可能です。

経済学部 of 総合型選抜入試について

活動評価型 〈レポート方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1次選考のポイント
- 2次選考のポイント

探究実践型 〈プレゼンテーション方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- **1次選考のポイント**
- 2次選考のポイント

エントリーシート、調査書、課題（レポート）により選考します。

■ エントリーシート ※活動評価型と同一の内容

「志望理由」「入学後に学びたいことや取り組みたいこと」
「将来の目標」について、**600**字以内で具体的に記述してください。

■ 課題（レポート）

プレゼンテーションテーマである**自身が経験した探究活動**について
800字以内で要約してください。

評価のポイント

探究実践型

1次選考

エントリーシート・課題(レポート)は、本資料P.11の記載事項に留意して記入してください。

課題(レポート)は、以下のような点にも留意してください。

- 自身が経験した探究活動について具体的に記載してください。
- 複数(グループ)での探究活動の場合、自分が担当した内容を明確にして説明してください。
- 探究活動の内容だけでなく、実施したことでどのような学びを得たか、今後どのように活かすかなども具体的に示してください。
- 自身の考えや意見については、理由や根拠もしっかりと記述してください。

経済学部 of 総合型選抜入試について

活動評価型 〈レポート方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1次選考のポイント
- 2次選考のポイント

探究実践型 〈プレゼンテーション方式〉

- 出願資格・選考日程・選考方法
- 1次選考のポイント
- **2次選考のポイント**

① プレゼンテーション(10分)

自身が経験した探究活動について説明してください。
(グループで実施した活動については、**自身の担当部分や学んだこと等を明確**にして説明してください)

② 面接(15分程度)

プレゼンテーションおよび出願書類・課題(レポート)の内容について質疑応答を行います。

プレゼンテーションの方法(例)

探究実践型

2次選考

パソコン

発表ファイルを面接室のスクリーンに投影しながら発表する

配付資料

印刷した発表資料を面接官に配付し、それに基づいて発表する

ポスター／模造紙

発表内容をまとめた模造紙やポスターを面接室の黒板もしくはホワイトボードに貼り、それを示しながら発表する

黒板／ホワイトボード

その場で黒板やホワイトボードに板書を行いながら発表する

希望するプレゼン方法を出願時に申告していただきます。プレゼン方法の違いそのものによって評価に差をつけることはありません。

発表資料を作成する際は、**以下の点に留意**してください。

- 自身の経験した探究活動について**明確に、わかりやすく**説明する。
- 情報を詰め込み過ぎず、**ポイントや要点を抜き出す**かたちでまとめる。
- **発表の流れやストーリーを意識**して資料の内容を構成する。
- 図表や画像を活用するなど、**見やすく**まとめる。
(ただし、パソコンを利用する場合、資料への**音声や動画の埋め込みは認めない**)
- 他の資料やデータを**引用する場合は、出所を明記**する。

プレゼンテーションを行う際は、以下の点に留意してください。

- 発表時間の【10分】を厳守し、大幅に早く終わったりオーバーしたりしないようにする。
- 視線はできるだけ面接官に向け、面接官がきちんと聞き取れるように適度な声量で話す。
- 本資料P.26で挙げたような資料やパソコンの使用は認めるが、あらかじめ用意してきた原稿をただ読み上げる方法は認めない。
- 文章を丸暗記してきて一気に喋るような発表もNG。

面接に臨む際は、以下の点に留意して準備を行ってください。

基本的に経済学の専門的知識を問うことはしないが、**プレゼン内容に密接に関連する範囲で経済学に関わる質問をすることはあり得る。**

質問に対して分からない場合は「分かりません」という答えもやむを得ないが、あまりに**それが続くのは好ましくない。**

深掘りするような質問にも対応できるよう、**プレゼン内容に関連する事項や周辺知識については事前に調べておくことが望ましい。**

パソコンでプレゼンを行う場合の注意事項

探究実践型

2次選考

- Microsoft PowerPoint®もしくはPDF形式のファイルみ使用可とし、パソコンは本学で用意したものを使用していただきます。
- 2次選考当日は以下の2点を忘れずに持参してください。
 - ｜ 発表資料のファイルを保存したUSBフラッシュメモリ (Type A)
 - ｜ 発表資料を印刷したものの **3部** (複数頁の場合は左上ホチキス止め)
- ファイルの起動等に問題が生じた場合には、持参していただいた印刷資料でプレゼンを行っていただく場合があります。

立正大学経済学部WEBサイト

<https://keizai.ris.ac.jp/>

